

# ハイデオ® INFORMATION



株式会社グンコーポレーション ハイデオ事業カンパニー

〒501-1132 岐阜市折立296-1 TEL 058-234-0888 FAX 058-234-1130  
e-mail:hy-deo@gshen.co.jp http://www.gshen.co.jp

No.49

平成 17 年 1 月 18 日

## 2005 年の卵価の展望

2005 年の卵価はさらに上昇する？

昨年 2004 年の鶏卵価格は、2003 年の過剰生産による低卵価を受けて、史上初の 85 円（全農東京 M 基準卵価）という低卵価で開始しました。その後、国内で鳥インフルエンザが発生し、その風評から鶏卵消費が停滞し、それほど卵価の上昇が期待できず、養鶏家による生産調整が実施されました。その結果、5 月以降の過剰気味の鶏卵生産量が調整されたことと、猛暑によりさらに鶏卵生産が低下したことを受けて、鶏卵供給が不足気味となり、その後の需要を満たせず、昨年未までの鶏卵相場を一気に急騰させました。2004 年の年間平均卵価は、2003 年の 151 円から 22 円上昇し、173 円となりました。

では、2005 年の卵価はどうなるのでしょうか。

2005 年の 1 年間に産卵する鶏群は、おおまかに 2003 年 1 月以降に餌付けられた鶏群（6 ヶ月鶏から 24 ヶ月鶏）と考えられます。2003 年の餌付け羽数は、過去 3 年間の増羽傾向による過剰生産で卵価の伸びが停滞したことにより、減少に転じました。2004 年は先ほども述べましたとおり、生産調整を実施したため前年を大きく下回っています。その結果、2005 年の産卵の基礎となる産卵鶏の羽数は、1999 年と同水準まで落ち込むと予想されます。参考までに 1999 年の年間平均 M サイズ基準値は 194 円でした。しかし、現在と 1999 年とは大きく異なることがあります。それは、1999 年頃は大き玉鶏が主流であり、年間鶏卵生産量は 253 万トンでした。しかし、現在は小玉鶏が主流であり、2004 年の年間鶏卵生産量は 245 万トンと推定されています。推定産卵鶏羽数をもとに算

出すると、2005年の年間鶏卵生産量はそれよりさらに減少し、前年対比で96～97%となると考えられます。

2005年の1年間、鳥インフルエンザの発生がなく、小玉鶏主流のトレンドが続き、猛暑や台風などによる過大な被害がないと仮定しても、鶏卵生産が2004年よりもさらに不足することは必至です。とすると、卵価はさらに上昇すると予測され、年間平均卵価では1999年の194円を上回ることもありうると考えられます。

しかし、反面、一人当たりの鶏卵消費量は、2004年は前年対比95～96%と減少傾向です。この傾向は今後も続くと思われれます。また、昨年急激に卵価が高くなったため、鶏卵消費量はさらに減少することも考えられます。それとは別に、生産量が不足した状態が続き、かつ高い水準で卵価が推移すると、今度は価格の安い輸入鶏卵が増大するという懸念も考えられます。

以上、2005年の卵価は、2004年よりも上昇すると考えてまちがいなさそうです。しかし、どこまで上昇するかは、今後の採卵鶏餌付け羽数、鶏卵消費量、鶏卵輸入量、鳥インフルエンザの発生、気象条件によるところです。

添付資料：採卵鶏の餌付け羽数と卵価の推移

# 採卵鶏の餌付け羽数と卵価の推移

平成17年1月18日作成

色付の部分は推定の数値

		採卵鶏餌付け羽数 (千羽)		鶏卵生産量 (トン)		卵価 (Mサイズ基準値)	
		実数	前年同月比	実数	前年同月比	実数	前年同月比
2001	1月	8,779	105.6%	209,182	100.7%	164	93.7%
	2月	9,149	102.2%	196,169	96.9%	215	98.6%
	3月	10,257	100.5%	219,761	100.1%	187	82.0%
	4月	10,448	102.8%	210,126	100.2%	158	77.8%
	5月	9,773	100.4%	217,630	100.6%	141	77.9%
	6月	9,233	97.1%	211,195	100.0%	140	84.3%
	7月	8,833	105.7%	207,673	99.9%	137	87.3%
	8月	8,304	105.5%	206,727	99.3%	138	92.0%
	9月	9,391	95.3%	205,443	98.3%	174	95.1%
	10月	9,088	102.6%	216,503	100.3%	174	87.9%
	11月	9,049	100.5%	211,943	99.2%	181	94.3%
	12月	8,502	94.0%	214,430	98.1%	209	95.0%
	合計	110,806	100.9%	2,526,782	99.5%	168	88.9%
2002	1月	8,256	94.0%	207,764	99.3%	155	94.5%
	2月	8,881	97.1%	194,690	99.2%	187	87.0%
	3月	10,553	102.9%	214,964	97.8%	176	94.1%
	4月	10,053	96.2%	212,426	101.1%	163	103.2%
	5月	10,426	106.7%	218,071	100.2%	157	111.3%
	6月	8,860	96.0%	208,220	98.6%	149	106.4%
	7月	9,212	104.3%	210,683	101.4%	140	102.2%
	8月	8,564	103.1%	207,200	100.2%	149	108.0%
	9月	9,305	99.1%	206,333	100.4%	197	113.2%
	10月	9,157	100.8%	217,668	100.5%	195	112.1%
	11月	8,917	98.5%	213,121	100.6%	201	111.0%
	12月	9,339	109.8%	217,762	101.6%	213	101.9%
	合計	111,523	100.6%	2,528,902	100.1%	174	103.6%
2003	1月	9,152	110.9%	208,263	100.2%	141	91.0%
	2月	8,784	98.9%	192,804	99.0%	179	95.7%
	3月	10,642	100.8%	212,938	99.1%	176	100.0%
	4月	10,811	107.5%	208,953	98.4%	161	98.8%
	5月	9,743	93.4%	214,798	98.5%	144	91.7%
	6月	9,146	103.2%	207,580	99.7%	131	87.9%
	7月	9,169	99.5%	210,259	99.8%	120	85.7%
	8月	7,398	86.4%	205,428	99.1%	127	85.2%
	9月	9,981	107.3%	207,499	100.6%	157	79.7%
	10月	8,650	94.5%	214,190	98.4%	158	81.0%
	11月	8,216	92.1%	207,313	97.3%	166	82.6%
	12月	8,419	90.1%	215,448	98.9%	156	73.2%
	合計	110,111	98.7%	2,505,473	99.1%	151	86.8%
2004	1月	8,423	92.0%	203,817	97.9%	95	67.4%
	2月	8,355	95.1%	196,621	102.0%	127	70.9%
	3月	9,883	92.9%	213,602	100.3%	133	75.6%
	4月	9,030	83.5%	206,865	99.0%	144	89.4%
	5月	8,731	89.6%	211,162	98.3%	171	118.8%
	6月	8,884	97.1%	204,901	98.7%	178	135.9%
	7月	9,071	98.9%	203,541	96.8%	147	122.5%
	8月	8,249	111.5%	201,061	97.9%	149	117.3%
	9月	8,855	88.7%	202,018	97.4%	196	124.8%
	10月	8,423	97.4%			204	129.1%
	11月	8,648	105.3%			256	154.2%
	12月	8,759	104.0%			272	174.4%
	合計	105,311	95.6%	2,450,000	97.8%	173	114.6%
2005	1月	8,255	98.0%				
	2月	7,687	92.0%				
	3月						
	4月						
	5月						
	6月						

採卵鶏餌付け羽数は農林水産省鶏ひなふ化羽数を参照  
 鶏卵生産量は農林水産省鶏卵流通統計を参照  
 卵価は全農東京Mサイズ基準値を参照